



『Shiningほいく』は研修の振り返りと実践への活用を目指し発行する機関誌です。受講での学びをどう実践に活かし保育の向上に繋げていくか、そして他園ではどのように研修内容を活用しているか等、職場の仲間たちと一緒に読んでいただき、専門性構築に『Shiningほいく』を活用していただきたいと思います。

～活用法～

- ① 「この間の研修どんな研修だった？」と話すときに**参考になる**
- ② 他園で研修をどのように活用しているか知りたい時に**ためになる**
- ③ 保育を見直したい時に**なるほど！と気づきがある**

＜今回掲載した研修＞

◇保育の質向上プロジェクト研修

保育の質向上プロジェクト研修 研究結果報告！

保育の質向上プロジェクト研修とは・・・

園内継続研究研修とは・・・一つのテーマに沿って継続的に保育の研究を行い、専門家の助言や指導を受け、保育の資質の向上を図ることをねらいとして取り組んでいる研修です。

かないくぼ保育園と向台保育園にて2年間継続の研究研修でした。昨年度（1年目）は、テーマの設定、研修のすすめ方の検討等、園の状況に合わせた研修で、昨年12月に中間報告会を行っています。Shiningほいく第36号にてお知らせしています。今年度はテーマに沿った実践研究、まとめの報告を行いました。保育の向上プロジェクト研修の中で報告を受け、参加園同士の意見、情報交換を行い、明日からの保育に繋げていけるような研修会になりました。

かないくぼ保育園
みどころポイント

- *園内研修の進め方
- *職員同士、保護者と保育や成長の共有



向台保育園
みどころポイント

- *保育のつながり
- *事例を通した子どもの変化

かないくぼ保育園



「子どもたちのやってみたい、やりたいことを叶える保育がしたい」「保育士自身も楽しく保育がしたい！！」という思いから、かないくぼ保育園の特性を活かして『あらゆる場所を使って保育ができる』と研究テーマを決めて、日々の保育を突き詰めていく取り組みを始めました。

春

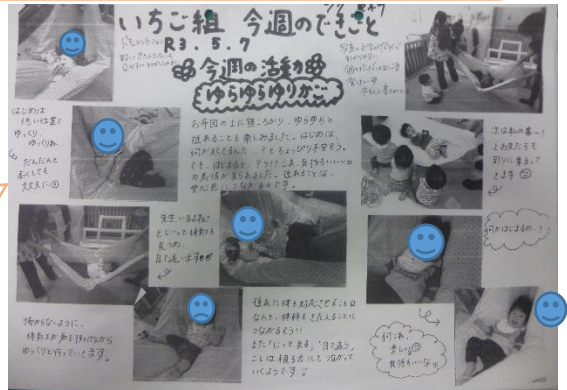


夏



～ これまでの遊びを季節・場所ごとに分類 ～
どの季節にどこで、どんな遊びをしてきたのか？
付箋で出し合い遊びの分類を進めました。
かないくぼ保育園のあらゆる場所で行われる保育を
職員間で共有できるようフロアマップも作成しました

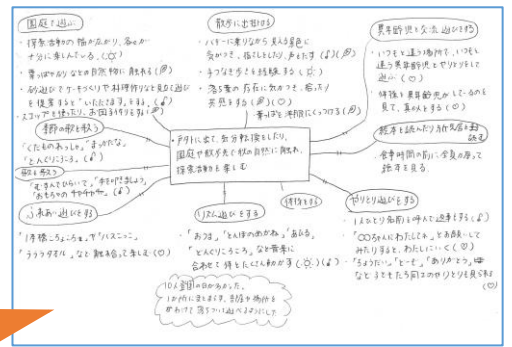
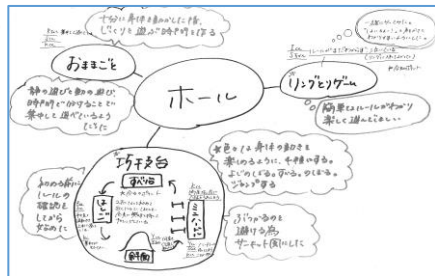
～ そこから見えてきたこと～
毎日楽しく過ごしている姿を、コロナ禍の制限がある
今だからこそ、保護者にも知ってもらいたい！そんな
思いから保育を発信する掲示作りにも取り組みました。
〇一人ずつにスポットをあてる
〇子どもの気持ちの変化や安心感や育つ力について
コメントできる



活動掲示に取り組む中で、ここを大事に
したい！という保育の視点を共有する事で
伝えたい場面や保育士の思いをわかりやすく
書けるようになりました。

～ 野口先生からのアドバイスを受けて ～
・日々のマップを様々なカリキュラムに活用しよう
・互いの保育の視点の違いや、その場面への思いの
違いを知ろう
・保育マップをもっと細分化してみよう

一人一人の日々の保育を
マップ化してみよう！



活動や生活面もマップ化した事で
子どもの姿が共有しやすくなりました。

マップで月反省を共有
し活用しました！

職員の声～4年目保育士

2年間の取り組みの成果

- ※職員間で子どもがやりたいことを話しあい、保育が行えるようになった！
- ※写真による掲示やマップ作りを通し保育の「見える化」ができた！
- ※保育の視点や子どもを見る視点がクリアになり、今日の活動掲示や日誌が書き易くなった！
- ※保育の見える化により、他クラスの保育や0歳児～5歳児の保育のつながりを考えやすくなった！

日誌の書き方を5領域を捉えての書き方に変えたことで保育の中のねらいが具体的に持てるようになった。今までがいかに抽象的に捉えていたかが分かり、より保育が深まった。マップを通してクラスで共有することで異なる視点で保育を見直すことができた。なんとなくわかっているだろう、同じ考えだろうと思ってしまいがちだが、実際に深く話してみるとそうでなかったことがあったので、いかにクラス内でのコミュニケーションが大切かわかった。

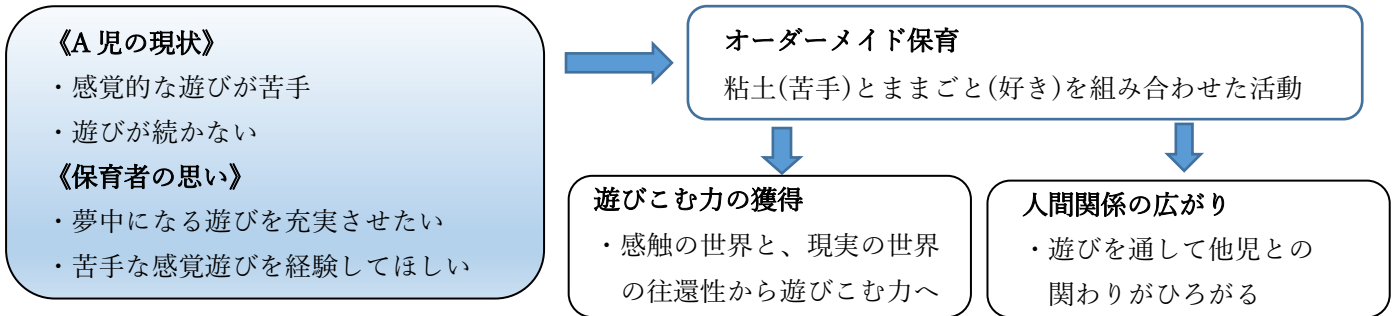


園内継続研究研修テーマ 『子どもが安心して自分らしく輝く保育を目指す』 向台保育園

向台保育園は小規模アットホームな保育園です。日頃から子どもの気持ちや思いに添った活動を展開することや丁寧な関りが可能であり、子どもたちは安心して過ごしています。一方で、これからの社会ではコミュニケーション能力や創造性などが求められます。そうした中では今後子どもたちに「非認知能力」や「思考力」を育てていくことが重要であると考えました。その土台を構築していく上では、保育園での生活の中で、主体的に活動に参加することや、自分で考え持っている力を十分に発揮する経験を豊かに積むことが大切であると考えました。

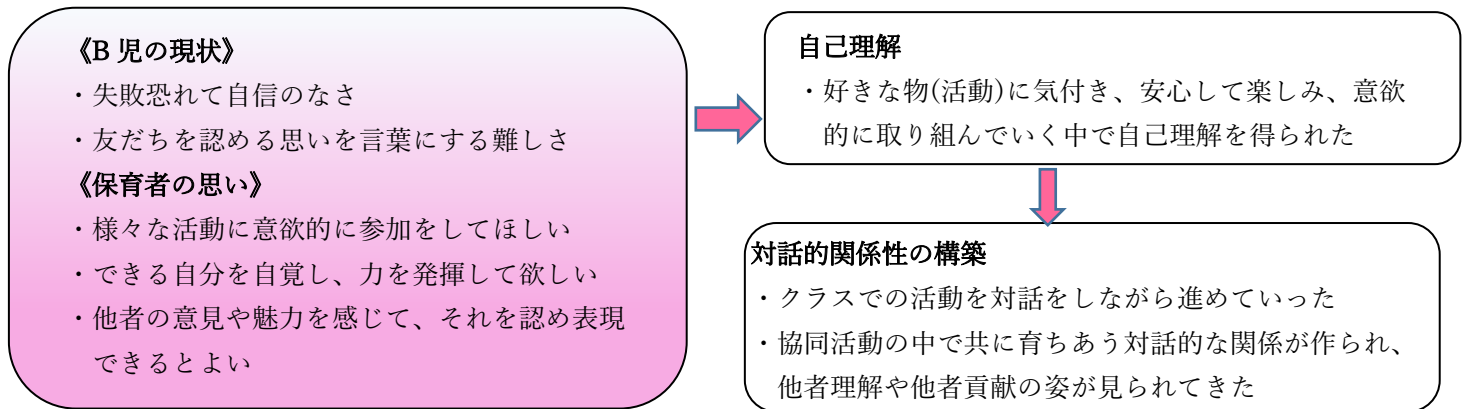
こうしたことから、研究テーマは自園の良さを活かしながら、今後の社会でよりよく生きていく力を育てるうえで、「子どもが安心して自分らしく輝く保育を目指す」というテーマのもと研究を行いました。以下は、各クラスの研究の概要を記載しています。

【 2歳 好きと苦手を合わせた遊びの中で夢中になって遊ぶという自分らしく輝く姿が出るまで 】



遊びの広がりから満足感へ 安心から自信へ (夢中になり遊ぶ姿へ)

【 5歳 自分の力を自覚し、他者の良さも認めるとい安心して自分らしく輝く姿まで 】



仲間との対話的關係性の中で、能力が遺憾なく発揮される

【 研究により深まった2つの視点 】

園内継続研究研修として2年間の研究を行ってきた中で、2つの大切な視点が見えてきました。

- ① **丁寧な読み取りをすること**：子どもたちの姿や保育のエピソードから丁寧な読み取りを行ってきたことにより、子どもたちの成長を細やかに、かつ職員の多様な視点を持って見ることができました。その子にあった保育設定、環境作りをすることが可能となり、子どもたちにとって安心できる場となっていきました。また、このような場を作るにあたって、保育者自身が子どもを理解しようとする姿勢や眼差しを持ったことで、子どもに寄り添う意識がより高まっていきました。
- ② **次に繋げる保育を考えること**：保育者同士の話し合いを多く持ったことにより、子どもの行動や声を見逃さず、1つ1つのエピソードについて考え、話し合い、次の保育を考えていくことの大切さを学ぶことができました。子どもたちの行動や声にはちゃんとした理由があり、そのことを事例や動画、写真などから読み取り、省察していくことの大切さを学びました。保育者間での多様で多岐に渡る対話があったことにより、次の保育に繋がるアイデアを見出すことができたことはもちろん、職員間での保育の共有が強く行われ、保育者の質・保育者集団の質の向上が図られた。



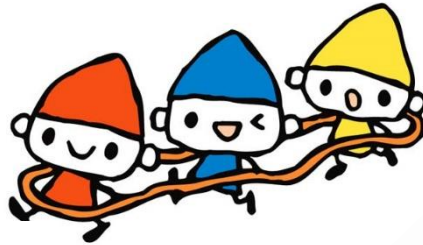


学んだこと・感じたこと

子ども一人に焦点を合わせて丁寧にみていくことで、子どもの成長をより感じることができるので、オーダーメイド保育も取り入れてみたいと思った。

担任間で保育の視点の違いを共有すること、保育の話をする場を持てるようにする。

日々の保育を意識して写真で撮っていき、タイムリーに保護者に向けて発信していけたらいいと思いました。



一人の子どもに対して、まわりの子どもの発言がどう影響し、その子供が何を獲得しているか可視化することで、子ども理解がより深まることが分かった。

今の子どもは、自己否定感にとらわれやすいという話が興味深かった。

日々の保育のマップ化や掲示の工夫は、良い点を取り入れながら自分にもできるのではないかと思う。

研修を終えて・・・

* 研修後半の交流会では報告から自園の取り組みを振り返り、新たな気づきや他園の実践からの学びがありました。

* 向台保育園、かないくぼ保育園の2年間の継続研究研修の報告の中では、園内研修の方法や研究からの学びを共有することができました。

各園、次年度の園内研修の参考にしてほしいと思います。